

# 土門拳記念館の 活用方法について

C1190340 梅津聖太

C1192155 広川俊也

C1201150 佐藤遊馬

C1190854 斎藤大地

# 土門拳とは？

- ▶ 1909年10月25日～1990年9月15日
- ▶ 出生地：山形県酒田市
- ▶ 日本の著名人や庶民などの伝統文化財を撮影し、第二次世界大戦後の日本を代表する写真家の一人。

# 土門拳記念館とは？

- ▶ 土門拳記念館は土門拳をテーマにした世界でも珍しい写真専門の美術館。
- ▶ 1983年10月土門の郷里である山形県酒田市に開館した。

# 実際に足を運んでみて感じたこと

- ▶ お客様の平均年齢が高い。
- ▶ ほんとに写真が好きな人や写真の勉強をしている人が来るところだと感じた。
- ▶ 素人が見ても分かりやすいように、写真の解説がほしいと思った。

# 自分たちなりに考えた 来客数が伸びない原因

- ▶ そもそも、土門拳記念館の存在を知らない人（若者）が多い
- ▶ 土門拳記念館の認知度が低い
- ▶ 写真愛好家などの写真に詳しい人向けなため

# 来客数を増やすために

- ▶ 情報発信、SNSの活用
- ▶ 若者に人気の有名人を招待するイベントを実施する。（Youtuber、お笑い芸人、歌手）
- ▶ 土門拳記念館の周りの景観を活かした企画  
アジサイの写真撮影会、イルミネーション

# 来客数を増やすために

- ▶ 入館料不要のフリーゾーンを作る  
(写真を見た人の感想や気づき、豆知識を紙に書いて投函ポストに入れて、それを職員の中で厳選して展示してもらい、手に取って見れるようにする。)
- ▶ 全国の写真愛好家が集うイベントの実施

# 実現可能な取り組み

- ▶ イルミネーションを利用して来館者数を増やす。
- ▶ SNS（インスタグラム、ツイッター）を利用して、イルミネーションやその他のイベントの情報を発信し、若者の集客に努める。
- ▶ 公益大×工芸大で、共同で企画するイルミネーション。



# イルミネーションを提案した理由

イルミネーションは認知度名上がるが、土門拳記念館の来館者数向上にはつながりにくいのでは？



まずは土門拳記念館の存在を認知してもらう事、その場に足を運んでももらう事が大切だと思った。実際に存在自体知らない人が多いので、認知してもらうという意味で提案した。

# 土門拳記念館のアカウント



インスタグラム

@domonken\_mus



ツイッター

@domonken

# まとめ

- ▶ 若い世代の認知度が低いため、まずは知ってもらう事から始めたいと思った。
- ▶ そのため、イルミネーションの設置とSNS（インスタグラム、ツイッター）の効率的活用を提案。
- ▶ イルミネーションによって土門拳記念館にも、非日常やロマンチックな体験を味わうことが出来る役割を与えたい。